

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 不二ラテックス株式会社

コード番号 5199 URL <http://www.fujilatex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 研二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員財務部長

(氏名) 畑山 幹男

TEL 03-3293-5686

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,591	△7.3	130	△17.9	119	△18.2	72	△21.3
25年3月期第1四半期	1,716	△6.5	158	△12.0	146	△10.8	92	△10.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 76百万円 (△17.4%) 25年3月期第1四半期 93百万円 (△9.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.72	—
25年3月期第1四半期	7.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,254	2,170	26.3
25年3月期	8,163	2,157	26.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,170百万円 25年3月期 2,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,050	△5.1	175	△1.0	150	3.4	80	△5.6	6.29
通期	6,500	5.3	370	15.1	320	19.3	170	6.9	13.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	12,861,992 株	25年3月期	12,861,992 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	143,289 株	25年3月期	141,958 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	12,719,338 株	25年3月期1Q	12,722,265 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和に対する期待感から円安、株価上昇が進む中、個人消費や輸出が持ち直しを見せ景気回復の動きがでてまいりました。一方、世界経済は、米国では緩やかな景気回復傾向が継続したものの、欧州における財政問題の長期化、中国や新興国の景気減速等を背景として先行き不透明な状況が続いております。

経営成績については、中核事業のひとつである医療機器事業は、主力のコンドームを取巻く市場環境は依然厳しい状況が続いております。もう一つの主力分野である精密機器事業は、製造関連企業を中心に顧客ニーズに対応すべく積極的な製品開発と提案営業を推進してきました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、15億9千1百万円と前年同四半期と比べ1億2千4百万円(△7.3%)の減少となりました。

利益面につきましては、営業利益は、1億3千万円と前年同四半期と比べ2千8百万円(△17.9%)の減益となりました。経常利益は、1億1千9百万円と前年同四半期と比べ2千6百万円(△18.2%)の減益となり、四半期純利益は、7千2百万円と前年同四半期と比べ1千9百万円(△21.3%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益または営業損失に基づいております。

① 医療機器事業

主力の国内コンドームは、継続的かつ中心的な戦略として位置づけている販売チャネルとしての大型小売店・ドラッグストア・コンビニエンスストア開拓をより重点的に推進しました。常態化した価格競争に伴う価格低下圧力は依然として激しく、原材料全般の継続的な価格高止まりにより収益両面ともに引き続き厳しい展開が続きました。プローブカバー(感染予防製品)を中心としたメディカル製品については引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は、5億5千7百万円と前年同四半期と比べ8千万円(△12.7%)の減少となりました。

セグメント利益は、原材料費のコストアップを生産合理化で吸収しましたが、5千3百万円と前年同四半期と比べ7百万円(△12.5%)の減益となりました。

② 精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは、国内市場、輸出ともに受注は堅調に推移しました。自動車関連、家電の分野では受注回復傾向が見え、住宅設備関連では堅調に推移しました。しかし国内の設備投資が本格的な回復に至らず産業用の分野は苦戦いたしました。

この結果、売上高は、8億9千万円と前年同四半期と比べ7百万円(△0.8%)の減少となりました。

セグメント利益は、1億7千6百万円と前年同四半期と比べ1百万円(0.9%)の増益になりました。

③ SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場のニーズ多様化と市場の縮小が続きました。前期より続く広告販促活動・イベントの縮小等には持ち直しの動きがみられたものの、ヘリウムガスの供給不足が続く中、依然として厳しい市場環境となりました。

この結果、売上高は、1億9百万円と前年同四半期と比べ3千5百万円(△24.5%)の減少となりました。

セグメント損益は、1千5百万円の損失となり前年同四半期と比べ1千9百万円(―%)の減益になりました。

④ その他

売上高は、3千3百万円と前年同四半期と比べ1百万円(△4.2%)の減少となりました。

セグメント利益は、1百万円と前年同四半期と比べ2百万円(△74.4%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、82億5千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ9千万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の1億2千3百万円の増加によるものであります。

負債総額は60億8千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ7千7百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の4千4百万円や賞与引当金の5千7百万円の増加や長短借入金の6千4百万円の減少によるものであります。

純資産総額は21億7千万円となり、前連結会計年度末と比べ1千3百万円増加しました。主な要因は、配当金支払いによる6千3百万円の減少はありましたが、四半期純利益の7千2百万円の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は26.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、平成26年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日公表の平成25年3月期決算短信の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,384,636	1,320,196
受取手形及び売掛金	1,684,416	1,807,883
商品及び製品	747,897	650,505
仕掛品	430,525	514,131
原材料及び貯蔵品	541,540	588,775
その他	116,480	130,889
貸倒引当金	△409	△442
流動資産合計	4,905,087	5,011,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	829,632	818,051
土地	1,469,852	1,469,852
その他(純額)	423,776	422,369
有形固定資産合計	2,723,261	2,710,272
無形固定資産		
投資その他の資産	47,208	47,997
その他	479,460	476,335
貸倒引当金	△2,628	△2,604
投資その他の資産合計	476,832	473,730
固定資産合計	3,247,301	3,232,000
繰延資産	10,822	10,262
資産合計	8,163,211	8,254,202
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,046,694	1,090,925
短期借入金	808,000	700,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	958,215	957,228
未払法人税等	8,031	39,132
賞与引当金	109,408	166,990
その他の引当金	—	6,083
その他	272,115	288,720
流動負債合計	3,222,465	3,269,080
固定負債		
社債	480,000	480,000
長期借入金	1,578,270	1,622,985
退職給付引当金	328,526	324,058
その他	396,402	387,524
固定負債合計	2,783,199	2,814,568
負債合計	6,005,665	6,083,649

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	966,738	975,841
自己株式	△29,870	△30,066
株主資本合計	1,828,330	1,837,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,060	26,665
土地再評価差額金	301,221	301,221
為替換算調整勘定	933	5,428
その他の包括利益累計額合計	329,216	333,316
純資産合計	2,157,546	2,170,553
負債純資産合計	8,163,211	8,254,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,716,273	1,591,317
売上原価	1,243,797	1,157,895
売上総利益	472,476	433,421
販売費及び一般管理費	313,535	302,904
営業利益	158,940	130,517
営業外収益		
受取利息	271	99
受取配当金	2,108	2,590
受取賃貸料	3,610	3,958
その他	1,948	2,039
営業外収益合計	7,937	8,688
営業外費用		
支払利息	17,890	15,790
賃貸費用	1,575	1,455
その他	1,378	2,546
営業外費用合計	20,845	19,791
経常利益	146,033	119,414
特別損失		
固定資産除却損	150	6,509
特別損失合計	150	6,509
税金等調整前四半期純利益	145,883	112,904
法人税、住民税及び事業税	1,127	37,919
法人税等調整額	52,320	2,282
法人税等合計	53,447	40,201
少数株主損益調整前四半期純利益	92,435	72,703
四半期純利益	92,435	72,703

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92,435	72,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,491	△395
為替換算調整勘定	3,074	4,495
その他の包括利益合計	582	4,099
四半期包括利益	93,017	76,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,017	76,803
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	638,337	898,246	144,740	1,681,324	34,948	1,716,273	—	1,716,273
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	638,337	898,246	144,740	1,681,324	34,948	1,716,273	—	1,716,273
セグメント利益	60,613	175,112	3,712	239,437	3,967	243,404	△84,464	158,940

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電工用手袋事業及び食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△84,464千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	557,579	890,990	109,262	1,557,831	33,486	1,591,317	—	1,591,317
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	557,579	890,990	109,262	1,557,831	33,486	1,591,317	—	1,591,317
セグメント利益 又は損失(△)	53,034	176,633	△15,914	213,753	1,014	214,768	△84,250	130,517

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電工用手袋事業及び食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△84,250千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。